

e-recognition for 請求書

3つのNO.1が連携、請求書処理業務の自動化をお手伝い！

NO.1 ソフト型OCR Prexifort-OCR **NO.1** AI-OCR DX Suite **NO.1** RPA WinActor

イーレコ シリーズ

「e-recognitionシリーズ」は、様々な問題点を3つのNO.1が連携し、
自動化とオフィスの働き方改革をワンストップサービスでお手伝いします。

こんな状況、当たり前だと思っていないか？

- ✓ 紙の請求書をひたすら手入力
紙の請求書を見ながら、記載内容を複数のシステムに手入力。企業ごとに形式やフォームも違い、想像以上に業務時間がかかる。
- ✓ 締め日に集中、月末月初の残業
月末月初に業務が集中し、担当者が残業で対応。他の業務にとりかかる時間がない。
- ✓ データ入力のミス対応
大量のデータを手入力する為ミスを誘発してしまい、修正作業が通常業務を圧迫する。チェック業務にストレスがかかる。

入力作業を無くし業務をスリム化。データ精度向上で確認作業もスマートに！

請求書文字のデータ化や入力作業は、「e-recognition」で自動化できます。

紙、PDF、FAXなど印字された帳票を汎用OCRやAI-OCRでデータ化し、請求書に記載されている取引先情報・請求金額・請求日などの情報を抽出。その後、DART(簡易機械学習機能)を利用しデータを補正、データ精度を向上させます。

基幹システムへの入力作業を手作業に変わりソフトウェアロボット(RPA)が実行し、業務プロセスを自動化。

紙帳票、PDF帳票、FAX帳票を取り扱うことが多い経理部門での業務負荷や作業ミスを軽減し、時短とコスト削減を推進。

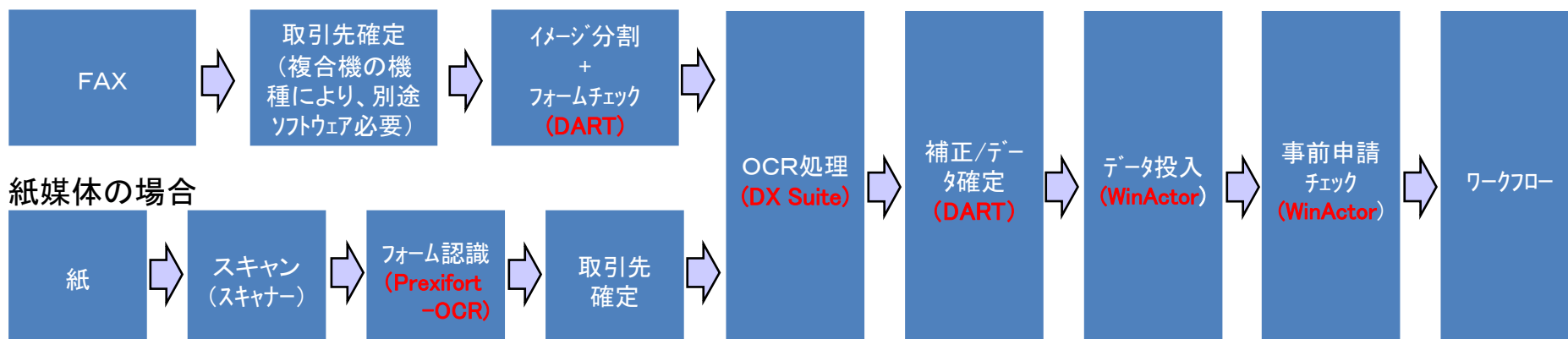
担当者のストレス軽減にも役立ちます。

さらに、モデル構築/設計、WinActor(RPA)シナリオサポートもご提供致します。

e-recognition for 請求書

「e-recognition for 請求書」による自動データ化フロー

FAXの場合



□ OCRを活用した照合業務へ変更することで業務の効率化を図る

